

第16回丸亀城石垣崩落対策本部会議録

1 開催日時 令和元年8月19日(月)午前10時～午前10時40分

2 開催場所 本館3階「特別会議室」

3 議 事

(1) 丸亀城坤櫓周辺で実施した地質調査について(教育総務課)

- 丸亀城坤櫓周辺で実施した地質調査は、平成6年度～平成15年度に10か所、平成27年度～平成30年度に45か所において実施した。6月26日に開催された丸亀城石垣復旧復興特別委員会では、それぞれの調査の目的や、実施方法などについて十分な説明ができていなかったため、改めて説明させていただく予定である。

- たくさん穴を開けて地質調査を行ったために崩落が起こったのではないかとの指摘もあるが、実際は、時間差で穴を開けていること、直径が小さいため、面積を考えた場合にも影響はないと思われること、埋め戻しについては土砂にモルタルを混ぜて穴をふさいでいることから、地質調査の実施が原因で石垣が崩落したとは考えていない。

→資料一覧の「実施成果」「備考」に記載している内容の表現について、これまでに説明してきたこととの整合性に注意するとともに、誤解を招く表現になっていないか確認すること。(市長、都市整備部長)

→今後、ボーリング調査を12か所実施する予定である。調査場所は、この一覧にある場所と重ならないようにし、追加で実施するものである。また、お城の北側でも2か所、調査を実施する予定である。(石垣復旧工事室長)

(2) 第1回現場見学会(石材見学会)について(工事分科会)

- 「丸亀城月一イベント」の開催とあわせて、令和元年9月14日(土)の13時30分から15時まで(1回目)、15時30分から17時まで(2回目)の予定で、第1回丸亀城現場見学会を開催する。場所は、旧城内グラウンド内である。

- 対象は小学校4年生以上(小学生は保護者同伴)、定員は各回20人、内容は2回とも同じで、石垣復旧事業概要説明(10分)、石材説明(15分)、刻印探し(20分)、丸亀城クイズ(15分)、自由見学(30分)を予定している。9月10日(火)まで申し込みを受け付けるが、定員になり次第締め切る。

→対象が小学校4年生以上となっているが、小学生と大人では説明のし方や内容を変える必要があるのではないかと考えている。そのことを考えると、例えば、1回目の対象を小・中学生、2回目の対象を大人、というようにはっきり分けた方が、参加者の理解度や満足度も増すのではないかと。(ポータル事業局次長)

→今回は、当初の予定どおりの対象で実施する。ただし、参加者を子どもと大人の2グループに分けて説明するなど、参加者が理解しやすいような方法で実施したいと考えている。(石垣復旧工事室長)

(3) 丸亀城石垣復旧整備事業PR施設について (工事分科会)

- ・石垣復旧事業に係る工事進捗状況の紹介や現場見学会で使用するなど、市民をはじめ県内外からの来館者に丸亀城の復旧を周知するためのPR施設を設置する。
- ・設置場所は、旧城内グラウンド3塁側スタンドの上の少し高くなった所で、復旧現場が正面に見える位置を考えている。施設の広さは、約62㎡(11.25m×5.5m)を予定している。
- ・利用方法は、通常は、パネルや出土品の展示、電子芳名版の設置、丸亀城スタンプラリーの最終チェックポイントなどに使用する。現場見学会を開催するときは、パネルを撤去し、座席を30席配置できるようにする。
- ・開館日時は、天守と同様に、年中無休の午前9時～午後4時30分。
- ・管理人を常時1名配置し、その管理人が、必要に応じて来館者にパネルなどの説明をしたり、備品を管理したりする。

→いつから開館する予定か。(こども未来部長)

→令和元年10月1日開館を目標に、準備を進めていく。(石垣復旧工事室長)

→分科会長が集まって事前打ち合わせをしたときをお願いしたことが、PR施設の屋上に上られるような設計になっているのか。(産業観光課長)

→改めて検討する。(石垣復旧工事室長)

(4) その他

① 石垣置き場について (工事分科会)

- ・綾歌総合運動公園と丸亀市総合運動公園駐車場計画地の2か所を石垣置き場として使用する。綾歌総合運動公園には、三の丸石垣(約3,300石)を今年度から令和5年度まで置く予定。丸亀市総合運動公園駐車場計画地については一部を利用し、帯曲輪石垣(約2,700石)を令和2年度から令和3年度まで置く予定。
- ・綾歌総合運動公園については、「市の緊急事態ということで、しばらくの間、石垣置き場として利用したいが、これまで説明してきた企業誘致をやめたわけではない」ということを、綾歌の3つのコミュニティにも事前に説明し、ご理解をいただいている。

② 「石垣復旧工事室だより」の発行について (工事分科会)

- ・現在、石垣崩落・復旧に関する情報は市ホームページで発信しているところである。しかし、ホームページを見られない人もいることから、石垣復旧工事に関する

る情報だけではあるが、「石垣復旧工事室だより」として、情報紙を発行したいと考えている。発行は不定期になる。

- ・情報紙は、コミュニティセンターや、今後設置するPR施設、市の主だった施設などに設置する予定である。

③ その他

- ・PR施設の設置も考えているということだったが、子どもたちが、傷ついたお城の修復過程を見ることは、子どもたちの郷土愛を醸成するいい機会になると思われる。長期的なアプローチの視点を持って、また、コミュニティとも連携しながら、教育の中で活かしていただきたい。(ボートレース事業局長)
- ・工事分科会だけでなく、ほかの分科会も協力して、PR施設を充実させるように。
(市長)

4 出席状況

(1) 本部構成者（第3条）

職	氏名	出欠
市長	梶 正 治	○
副市長	徳 田 善 紀	○
教育長	金 丸 眞 明	○
モーターボート 競走事業管理者	大 林 諭	○
市長公室長	横 田 拓 也	○
総務部長	栗 山 佳 子	○
健康福祉部長	宮 本 克 之	○
こども未来部長	石 井 克 範	○
生活環境部長	小 山 隆 史	○
都市整備部長	谷 口 信 夫	○
産業文化部長	山 地 幸 夫	○
ボートレース 事業局次長	矢 野 浩 三	○
教育部長	川 田 良 文	○
消防長	田 中 道 久	○
議会事務局長	渡 辺 研 介	○

(2) 関係職員

市長公室職員課長	井 上 孝 敏
総務部財務課長	宮 西 浩 二
市長公室広聴広報課長	七 座 武 史
都市整備部都市計画課長	吉 本 博 之
都市整備部都市計画課石垣復旧工事室長	上 甲 育 司
都市整備部都市計画課主査	真 鍋 和 江
産業文化部産業観光課長	林 裕 司

(3) 事務局

市長公室秘書政策課長	窪 田 徹 也
市長公室秘書政策課副課長	谷 本 智 子
市長公室秘書政策課政策推進担当長	野 本 政 宏
市長公室秘書政策課主査	宇 野 大志郎
教育部総務課長	岸 上 直 美
教育部総務課副課長	吉 野 隆 志
教育部総務課文化財保護室長	東 信 男